



第3回ふれあいフォトコンクール
最優秀作品「こどもの日」

ふれあいネットワーク **別海町**

2022年1月 **NO.138号**

社協だより ふれあい

Contents

- 年頭のごあいさつ
- 別海町ボランティアセンター研修会
- 福祉出前講座報告
- 別海町共同募金委員会中間報告
- 認知症の人と暮らすまちづくり研修会
- 身体障がい福祉協会研修交流会
- 寄付金報告
- 緊急小口資金等特例貸付期間延長 ほか

別海町社会福祉協議会では、 表紙の写真とコメントを募集しております

写真に人物が写っている場合は、ご本人の承諾を得たうえで投稿してください。（投稿者名はペンネームやイニシャルでも構いません）投稿いただける方は、社会福祉協議会事務局までご連絡ください。お待ちしております。



社協ホームページ
QRコード



社協だより「ふれあい」は赤い羽根
共同募金の一部助成を受けて発行し
ています

第3回ふれあいフォトコンクール 最優秀賞

第3回目となる「ふれあいフォトコンクール」におきまして、全17作品の中から投票により最優秀賞に輝きました作品をご紹介します。

山家 琴さんが出展しました「こどもの日」が見事最優秀賞に選ばれました！

受賞されました山家さん、おめでとうございます！

また、出展いただきました皆さん、ありがとうございました。

社協ホームページ

URL : <http://shakyo-betsukai.com/>
※左下のQRコードからもアクセスできます。

発行

社会福祉法人 **別海町社会福祉協議会**

〒086-0203 北海道野付郡別海町別海西本町36番地 TEL:0153-75-2148 FAX:0153-75-0457



今年こそ五黄の寅の 強運を活かし前進 町民全て

別海町社会福祉協議会 会長 山口 長 伸

**コロナ禍の 子丑過ぎ去り
寅の年 強力運氣 終息期待**

新年おめでとございます。

別海町の全てのご家族が、ご健康で、夢と希望に満ちあふれた令和四年になることを、謹んでお祈り申し上げます。

さて、今年が寅年。古来から続いている曆によると、今年が「五黄の寅」の年に当たり、運氣が強い年と伝えられています。なかなか終息しないこの危機・コロナ禍が、強い運氣で収まることに期待しています。

**虎視眈々 隙を狙いて コロナ
ナ菌 再流行に 厳重注意**

報道によると、コロナ菌は、オミクロン株なるものに進化しながら、またも人間界に恐怖を与えています。それに打ち勝つために、人間はコロナ菌以上に進化し、知恵を絞ってワクチン開発や特效薬の開発を進めています。その間、私たちは我慢して待つしかありません。

寅年の訓示虎穴に入らずんば虎子を得ず也 教訓にして

これは、「危険を怖れなければ大きな成果は得られない」という意味で、古代中国の故事成語です。ワクチンも特效薬も、動物実験を繰り返して開発されています。多くの動物の命を危険にさらし、人間の命を守るために作られたものです。そういう意味で、研究開発者と犠牲になった動物たちに、深い感謝と敬意を表するものです。

**千里往き 千里を帰る 中国
の 諺の寅 真似て前進**

さて、コロナ禍を理由にして、多くの事業が中止や延期、縮小や変則開催に追い込まれています。社協関係では、毎年開催されていた各地区の敬老会が、二年連続中止の憂き目を見ました。こういう事態では致し方ないのですが、これを契機にして事業の見直しや改善点の洗い直しをしているところですよ。

**前門の 虎後門の 狼に 狙
われている ことを忘れず**

コロナウイルスの名前は、ギリシャ文字で付けられているそうで

す。日本では、数学や物理学の専門用語に多い文字です。ところが、前門に居たデルタの変異株オミクロンが後門に居て、アルファベットの順番が不自然なのです。隠された変異株がいるのかもしれない。いずれにしる、用心に越したことはありません。

**虎の子の 命守るが 使命なり
福祉の責務 遂行誓い**

以上、今年の干支の寅・虎にちなんだ文を並べて、新年の挨拶を申し述べましたが、時節柄、話の中心がどうしてもコロナ禍になってしまいます。

「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」「備えあれば憂いなし」など、先人の残してくれた慣用語・ことわざ・言い伝えは、住民福祉の基本です。張子の虎や虎の威を借る狐ではない本物の虎となり、仲間間の虎の尾を踏むことなく、慎重に真摯に前進する決意です。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	監事	監事	常務理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	会長	
吉川	山田	三原	水本	水沼	松倉	降旗	橋本	中山	清水	佐藤	今野	神部	遠藤	小南	鈴木	山崎	羽石	中澤	棚橋	菅田	白田	加勢	山口
三男	志保子	眞佐子	節子	賀代子	穂子	和人	淳一	恵子	浩光	富士雄	健一	勝利	みさ	裕二	秋弘	宏	義男	豊子	昌博	節子	誠治	正司	伸

(五十音順)

令和3年度
別海町ボランティアセンター
研修会を開催しました

11月27日に別海町交流館ぐらと大会議室にて別海町ボランティアセンター研修会を行いました。

今回の研修会では、別海町地域おこし協力隊 高橋秀明氏、原田佳美氏の2名を講師に迎え、地域づくりやボランティア活動、住民活動などへの参加推進を図る事を目的に開催しました。

まず初めに、講師から「別海町十景」についての説明がありました。別海町は市街地から少し離れると、トドワラや白鳥台、小野沼公園など自然豊かで素晴らしい自然の魅力がたくさんあります。ぜひ都会にはない自然の情報を発信していきたいと語っていました。

次に旧標津線全ての廃駅で設置された「駅名標設置」の説明を受けました。

特に上春別駅跡では、地域おこし協力隊員等で樹木や草刈りなどの整備を行い、令和2年11月2日に別海町歴史遺産第14号に認定されました。これにより、全国の鉄道好きマニアのみなさんに興味を持っていただいています。これからも、どんどん別海町の魅力を発信したいというお話をいただきました。

また、「移住者」についての説明がありました。別海町へ移住を考えている方に対し、「別海町民として何が出来るか」などの話を聞き、ボランティアの視点で、町民の皆様と共に考えていきたいと話をされました。

講演後には質問等も多数あり、色々な情報を共有でき、とても有意義な研修会となりました。

動画配信サイト YouTube では、「ベつかい移住ちゃんねる」にて新たな別海町の魅力についての情報も配信されていますので、興味のある方は是非ご覧ください。



ボランティア研修会

収集ボランティアにご協力
いただきありがとうございます

別海町ボランティアセンターで取り組んでいる収集活動に多くのご協力をいただきありがとうございます。寄せられたリングプルは、車イス等の福祉用具と交換し、無償で貸出いたします。

また、古切手は障がい者団体へ寄付し役立てられます。

- ◇リングプル
 - 小原 雅二様
 - 別海中央公民館様
 - 西春別支所様
 - 別海中央小学校様
 - 根室地区郵便局婦人会別海部会様
 - 春別寿会様

- ◇古切手
 - 別海郵便局様
 - 内澤 彰市様
 - 尾岱沼郵便局様
 - 有田 伸様
 - 高玉建設工業(株)様



古切手

長年の献血へのご協力
ありがとうございます

日本赤十字社から野付漁協協同組合様に長年、献血にご協力いただいたことに対して銀色有功章(献血事業への15年以上の協力)が贈られました。



今後ともご協力をお願いします。

400ml献血のお願い

現在、医療機関からの要請が400ml献血製剤に移行されています。そのため200ml献血は必要人数のご協力を得られた時点で、次回への延期をお願いする場合がございます。

基準
男性は17歳、女性は18歳から400ml献血ができます。

予約
献血Web会員に登録いただくとWeb予約ができます。予約の方は受付を優先させていただきます。

果もご覧いただけます。

お問い合わせ先

北海道赤十字血液センター

釧路事業所 事業課

TEL 0154-38-7501

(平日9時~17時30分)

福祉出前講座を実施しました

①紙食器・スリッパづくり

7月1日、上西春別小学校5年生を対象に、災害について学ぶ宿泊学習の一環で、災害時に新聞紙などで簡単に作れる食器。スリッパを作る方法を学習しました。

児童の皆さんは新聞紙を用いて、この日の夕食の際に、実際に使用する食器を作成しました。



②ポッチャ体験

11月4日、別海町民生委員児童委員協議会障がい者部会員を対象に、今年行われたパラリンピックでも正式競技になっていたポッチャ体験を行いました。

部会員の皆さんは、簡単ながら奥



深いポッチャを楽しみ、障がい者福祉について一層の理解を深めました。

③視覚障がい・高齢者についての学習

11月19日、上春別小学校3・4・6年生を対象に、視覚障がいについて、また、高齢者について学習しました。

視覚障がいについては、点字体験と白杖を使ったアイマスク体験を行いました。

点字体験では、実際に点字器を用いて、点字名刺を作成しました。高齢者については高齢者疑似体験セットを装着し体育館内のコースの歩行や、車イス体験を行いました。



④高齢者・障がい者について

12月3日、上風連小学校5・6年生を対象に高齢化と障がいについて学習しました。

高齢者疑似体験とアイマスク体験を体育館と廊下にて行い、車イス体験を校庭で行いました。

普段生活している学校で体験することで、障がいを持つ人や高齢者の方がどのようなところに苦労を感じるのか身をもって知ることができました。



⑤手話体験

12月10日、西春別中学校生徒を対象に手話体験を実施しました。

当日は、手話の会の皆さんを講師にお招きし、手話について学習しました。

始めに聴覚障がいについて説明を受けるとともに、手話クイズにより手話を身近に感じることができました。

その後、グループに分かれて実際に手話表現について学びました。



社会福祉協議会ではコロナウイルス又感染予防対策をとりながら、できるかぎり地域の皆様の要望に応じた福祉出前講座を開催していますので、ご希望される方は別海町社会福祉協議会までご相談ください。

令和3年度 赤い羽根共同募金実績

令和3年12月17日現在

実績額 **3,275,545円**
 目標額 **4,000,000円**
 達成率 **81.89%**

〈内訳〉

募金種別	件数	金額
戸別	2,553件	1,720,434円
街頭	2件	25,327円
法人	268件	1,277,500円
学校	9件	62,754円
イベント	0件	0円
募金箱	4件	9,459円
団体・その他	18件	180,071円
合計	2,854件	3,275,545円



10月1日より実施いたしました「赤い羽根共同募金運動」では、町民の皆様、企業、学校、老人クラブ、街頭募金など、たくさんの方の募金をお寄せいただき誠にありがとうございました。

別海町共同募金委員会 令和3年度 赤い羽根共同募金中間報告

お寄せいただいた募金は、北海道共同募金会に納めた後、審査委員会を経て、令和4年度に福祉団体や施設等へ助成し、地域福祉の様々な事業に活用させていただきます。また、12月1日より実施した歳末



北海道別海高等学校からの募金贈呈

令和3年度 地域歳末たすけあい募金実績

令和3年12月17日現在

実績額 **270,051円**
 目標額 **1,000,000円**
 達成率 **27.01%**

〈内訳〉

募金種別	件数	金額
職域	2件	18,470円
団体・その他	9件	251,581円
合計	11件	270,051円

歳末たすけあい募金への協力ありがとうございます

(12月17日現在)

別海町民生委員児童委員協議会様
 西春別駅前郵便局様
 中春別農協女性部様
 野付漁業協同組合女性部様
 ボランティアサークル
 サンキューの会様

別海北の勝を愛する会様
 北海道別海高等学校様
 西別赤十字奉仕団様
 別海連合町内会女性部様
 JAほほえみ会様
 JA道東あさひ女性部べつかい支部様

たすけあい運動では、職域・団体から多くのご協力をいただきました。寄せられた歳末たすけあい募金により、「歳末見舞金」を町内の要保護世帯14世帯、障がい者グループ

ホーム、小規模作業所、児童デイサービス等の施設や別海町特別支援学級合同事業運営委員会へ、また、「児童生徒進学（就職）支援金」を11世帯へ届けることができました。

赤い羽根共同募金街頭募金を実施しました

共同募金運動の一環として、街頭募金活動を、別海市街地区と西春別駅前地区で行いました。コロナ禍での活動となりましたが、たくさんの方のご厚意が集まりました。ご協力いただきました皆様、また、フクハラ別海店様、コープさっぽろべつかい店様、Aコープ西春別店様、別海町中央公民館様、ありがとうございました。



西別赤十字奉仕団による募金活動



募金奉仕団第6分団による募金活動

認知症の人と暮らす まちづくり研修会開催

別海町在宅介護者と歩む会では12月4日、別海町西公民館にて、町民のみなさんに在宅介護の在り方と認知症の人と共に暮らすまちづくりについて理解を深めていただくことを目的として、北海道・北海道認知症の人を支える家族の会主催、別海町在宅介護者と歩む会共催の認知症の人と共に暮らすまちづくり研修会を開催しました。

当日は、関係者を含め45名が参加し、主催者挨拶のあと、別海町在宅介護者と歩む会会員齊藤明氏の介護体験発表と、「最期まで私らしく生きたい」の演題でグループホーム福寿荘総合施設長、武田純子氏による講演をいただきました。武田氏からは、「年をとっても、車椅子より自分で歩きたい。流動食よりもおいしいものが食べたい。オムツよりもトイレにいきたいですよ。」と利用者の気持ちになつて講演され、お年寄りの思いを実現させるための努力や工夫に



ついて貴重な体験談をいただきました。

別海町在宅介護者と歩む会では、会員を募集しております。

ご興味のある方は、事務局（別海町社会福祉協議会）までお問い合わせ下さい。

TEL 0153-75-2148

根室地区身体障がい者福祉協会 研修交流会に参加しました

別海町身体障がい者福祉協会では、10月28日から29日の2日間、根室管内身障協会が一堂に会し会員相互の理解と親睦を深めることを目的として、根室地区身体障がい者福祉協会主催の研修交流会が開催されました。当日は、雨が降ったり止んだりの天気模様でしたが、5名の会員のみなさんが参加しました。

はじめにスポーツ交流会では、「ニュースポーツを体験しよう!」ということで、各町で合同チームに分かれて、バドミントンとラダーゲッターという競技を行いました。この2種類のニュースポーツは、身障者の方でも手軽にできる競技で、参加者はとても楽しそうに競技に参加し交流を深めていました。

次に、施設見学をしました。「清里町物産館」では、地元の名産品などを見学したり、お土産を買ったりして楽しみました。

また、「清里焼酎醸造工場」では、コロナ禍で、工場見学ができないことから希望者を募り、モニター見学となりました。

最後に今回の研修交流会では、コ

ロナ禍でもマスクの着用はもちろん、手指消毒やソーシャルディスタンスを取り入れながら私たちが安心して暮らせる共生社会を築くためのヒントをいただき、自分を振り返るための良い機会となりました。

身体障がい者福祉協会では、会員を募集しております。

ご興味のある方は、事務局（別海町社会福祉協議会）までお問合せ下さい。

TEL 0153-75-2148



身障協会管内研修交流会

介護職員 初任者研修講座終了

8月1日から12月2日までの約4か月にわたり、町内の介護職員の充実・家庭、在宅での介護技術、知識の向上を図ることを目的として開催し、8名が受講しました。

講座期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出されましたが、オンライン会議システムZOOMを使用して受講していただきました。

受講生8名が資格取得することができました。

北海道共同募金会 会長表彰

共同募金会では、永年にわたり共同募金運動にご協力いただいた団体に対し、表彰状及び記念品を贈呈しています。

この度、左記の1団体・1校が受章されました。

おめでとうございます。

優秀地区・団体

西春別駅前長命クラブ様

優秀学校

別海町立上西春別

中学校生徒会様

一足早くクリスマスプレゼント! コカ・コーラ社別海町社協に寄贈

今年も北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様より飲料10ケースを寄贈していただきました。町内の児童館、福祉施設にお届けし、大変喜んでいただけました。

北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様、ありがとうございます！



福祉用具貸出のご案内

社協では、自宅での介護や病気のケア等により福祉用具を必要とされる町民に、無償貸出を行なっていますので、ご利用ください。

【福祉用具の種類】

車イス、電動ベッド、歩行器、ポータブルトイレ、入浴時に使用する

シャワーチェアや浴槽手すりなどがあります。

申し込みの前に、電話で在庫を確認してください。

【貸出期間】

3か月、以後更新もできます。

■相談・問合せ

別海町社会福祉協議会

電話 0153-75-2148

ご寄付ありがとうございました

令和3年9月11日～令和3年11月30日まで

(敬称略)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 星 正信 (別海旭町) | 岡野真寿美 (泉川) |
| 北島 和治 (床丹) | 畠山 吉男 (美原) |
| 山本 開一 (大成) | 平賀 和子 (尾岱沼潮見町) |
| 横田美津江 (別海) | 小林 譲 (中春別東町) |
| 高山 正 (別海) | 伊藤 直子 (中標津町) |
| 佐藤 信子 (別海常盤町) | ヤマギシズム生活別海実顕地(奥行) |
| 向井 朝子 (西春別駅前曙町) | 齊藤 照子 (尾岱沼潮見町) |
| 対馬 和秀 (床丹) | 大地みらい信用金庫西春別支店 |
| 日下 章一 (尾岱沼) | カトレア会 (西春別駅前錦町) |
| 阿部 信一 (美原) | 伊沢うめ子 (別海緑町) |
| 筒井 昭人 (本別海) | 安田 重夫 (別海宮舞町) |
| 尾形 春喜 (美原) | 岩崎 實 (別海新栄町) |
| 丹羽 義広 (中西別) | 伊原 弘枝 (西春別駅前寿町) |
| 服部 英造 (美原) | |

お詫び

社協だより10月号にて報告しました「令和3年度社協委員会費収納状況(中間報告)」に、記載漏れ、訂正箇所がありましたのでお詫び申し上げます。正しくは、次のとおりです。

柏野町内会	21戸	20,000円
西春別駅前連合町内会	243戸	97,810円
北鳴地区会	22戸	22,000円

新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少でお困りの方へ

～緊急小口資金等特例貸付の受付期間・据置期間が延長になりました～

受付期間の延長 緊急小口資金、及び総合支援資金（初回）：令和4年3月25日まで（町社協の締切）
※総合支援資金（再貸付）については令和3年12月20日までで受付を終了しています。

申請受付方法 原則、申請書は郵送で受け付けます。
電話でご相談いただいた後、希望者に必要書類を送付します。
早めに申請してください（書類の不備により期日を過ぎると受付できません）

緊急小口資金	●緊急小口資金	●総合支援資金
対象者	影響を受け、休業等による収入減少で一時的に生計維持の貸付が必要な世帯	影響を受け、収入減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難な世帯 ※小口資金貸付申込を優先する
貸付上限額	原則1回、一世帯10万円以内 ※特例で20万円以内（要件あり）	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 ※原則3月以内
据置期間	貸付日から1年以内	貸付日から1年以内
償還(返済)期間	据置期間終了後2年以内	据置期間終了後10年以内
貸付利子・保証人	無利子、保証人不要	無利子、保証人不要
申込に必要なもの、要件など	<input type="checkbox"/> 身分証明（住民票、健康保険証、運転免許証等） <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 減収したことが確認できる書類（通帳、給与明細等）	同左 注）自立相談支援事業等による支援を受け付け、継続的な支援を受けることが要件となります。生活保護を受けている世帯は、原則対象としません。

※窓口での相談を希望される場合は、必ず事前に電話で相談を願います。

償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができます（資金の種類ごとに課税要件を判定します）

本資金は借金の返済目的には利用できません

【相談・受付・問合せ】別海町社会福祉協議会 貸付担当 TEL 0153-75-2148
※平日9時～17時までの受付となります。

支援を必要とする町内の児童・生徒のために 不要になった、制服やジャージ等の 寄付をお願いします!

募集

社会福祉協議会では、皆様の愛情による金品等の寄付を「愛情銀行」で受け入れ、効果的に社会公共の用に供します。

別海町内にも、制服等が用意できず、子供が学校に行けない等の悩みを抱えているご家庭があります。今回、そうした援護が必要な児童・生徒に届けるため、別海町教育委員会スクール・ソーシャルワーカーと連携し、不要になった学校の制服などの預託（寄付）を募集します。ぜひ、ご協力をお願いします。

記

- 1 募集する品目**
 - ・中学校や高校の制服、指定ジャージ、一般的なジャージ、防寒着
 - ・習字セット、絵の具セット、スケート靴、鍵盤ハーモニカ
- 2 留意事項**
 - ・衣類は、洗濯済のものに限ります
 - ・持ち主を特定できる名前は、消してください
 - ・少々のほころび・傷であれば、受入れます
 - ・汚れや傷みがひどいものは、受入れできません（返却します）
 - ・受付の際、申込書の記入をお願いします（個人情報は公表しません。匿名も可）
- 3 募集期間** 令和4年1月28日まで（平日8：45～17：30）
- 4 受付場所**
 - ・別海町社会福祉協議会（別海西本町36番地／TEL0153-75-2148）
 - ・役場支所（西春別・尾岱沼）・連絡事務所（上風連・上春別）

